

実施日程



実施月日	曜日	都道府県 政令指定都市	実施校
10月7日	月	和歌山県	新宮市立熊野川小学校
10月8日	火	和歌山県	那智勝浦町立宇久井小学校
10月9日	水	三重県	紀宝町立井田小学校
10月10日	木	三重県	津市立大三小学校
10月11日	金	和歌山県	紀の川市立竜門小学校
10月15日	火	奈良県	黒滝村立黒滝小学校
10月16日	水	大阪府	泉南市立東小学校
10月17日	木	大阪市	大阪市立小林小学校
10月18日	金	大阪府	泉南市立雄信小学校
10月21日	月	滋賀県	長浜市立古保利小学校
10月23日	水	滋賀県	米原市立山東小学校
10月24日	木	三重県	三重県立くわな特別支援学校
10月25日	金	大阪市	大阪市立内代小学校

◆ 人形劇団プーク ◆

「人形劇団プーク」は1929年に誕生し、今年、劇団創立90周年を迎えました。

東京・新宿にある人形劇の専門劇場「プーク人形劇場」を中心に、国内・海外と公演しています。劇を考える人たち、人形やセットをつくる人たち、企画して公演のお知らせをする人たち、テレビで人形を操る人たちなど、劇団員は合わせて77人です。



知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

れいわ がんねん ど
令和元年度

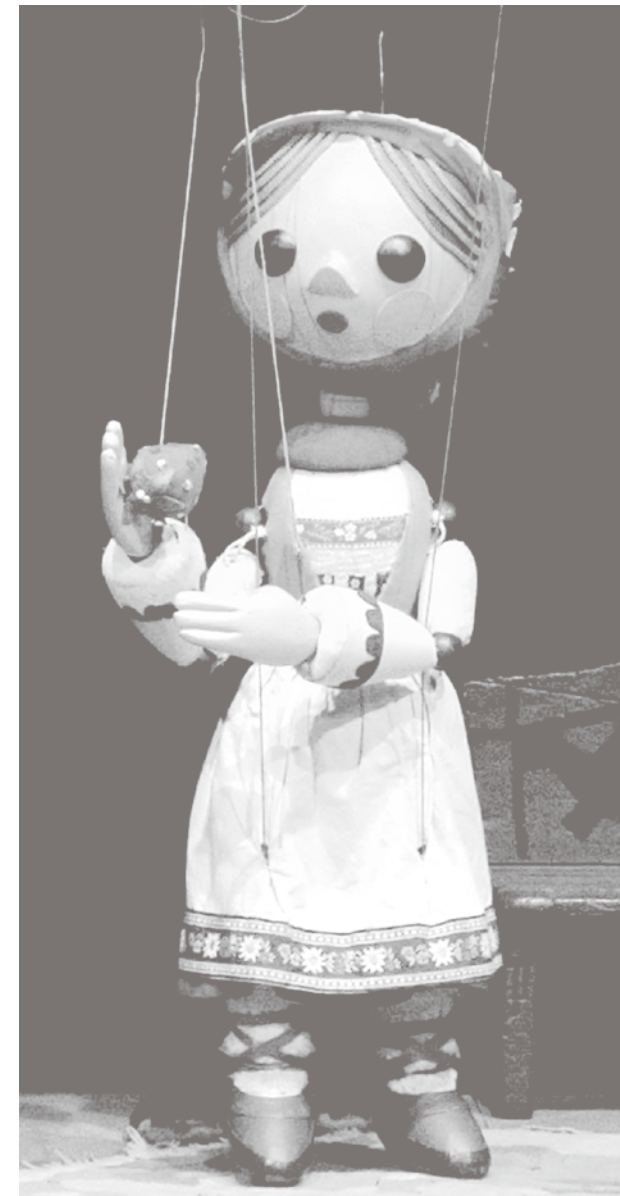
文化芸術による子供育成総合事業

一巡回公演事業一

じ どうげき
《児童劇》



人形劇団プーク 公演



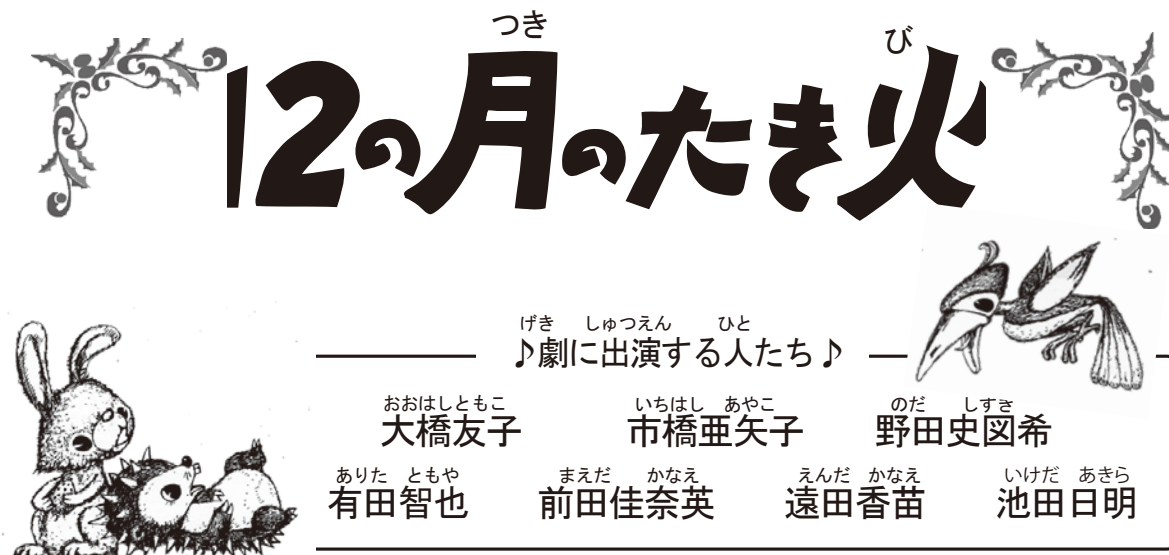
スロバキアの民話より
12月のたき火
自然の厳しさやさしさに向きあい生きる少女マールシャの物語

「文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演事業一」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。





げき 劇について

『12の月のたき火』は、スロバキアの民話をもとにつくられました。主人公マルーシャが立ち向かう、困難や試練と一緒に体験することで、みなさんの美しい心、ともに明日をゆたかに生きる力を育みたい…そんな願いを込めてつくられたのがこの舞台です。



げき つく ひと この劇を創った人たち

さく えんしゅつ はなし げき ほん か
作・演出プラン (話をつくり、劇のための本を書き、

げき 劇のもともとの計画を立てた人) …………… かわじり たいじ 川尻泰司

えんしゅつ げきぜんたい かんが はいゆう うご ひと
演出 (劇全体を考え、俳優の動きなどをつくった人) ……… おかもと かずひと 岡本和彦

びじゅつ にんぎょう ひと
美術 (人形のデザインをして、つくった人) …………… なかやま ときこ 中山杜卉子

おんがく げき あ おんがく ひと
音楽 (この劇に合うように音楽をつくった人) …………… ながさわ かつとし 長沢勝俊

しょうめい ぶたい しょうめい ひと
照明 (舞台の照明のあてかたをデザインした人) …………… あべ ちかこ 阿部千賀子

せいさく げき み げき ないよう しょうかい せんでん ひと
制作 (劇を観てもらうために、劇の内容を紹介したり、宣伝する人) など

あらすじ

ある大晦日の日。いじわるな母親の言い
つけで吹雪の森へいちごを採りに出かけます。
いちごの実る季節ではありませんが、持って
帰らないと家に入れてもらえません。

森の中で凍えていると、遠くからたのしげな
歌声が聞こえてきました。マルーシャが行って

みると、そこには1月から12月までの月の精たちが集まり、たき火を囲んで
新しい年を迎えるお祝いをしていたのです。

自然の厳しさとやさしさに向き合い、人間のとうとさを教えてくれる、
少女マルーシャのお話です。



実施日程



実施日程	実施校名	地元主催者
2019年11月6日(水)	熊野市立金山小学校	三重県教育委員会 熊野市教育委員会
2019年11月7日(木)	四日市市立楠小学校	四日市市教育委員会
2019年11月8日(金)	鈴鹿市立深井沢小学校	鈴鹿市教育委員会

◆ 人形劇団プーク ◆

「人形劇団プーク」は1929年に誕生し、今年、劇団創立90周年を迎えました。

東京・新宿にある人形劇の専門劇場「プーク人形劇場」を中心に、国内・海外と公演しています。劇を考える人たち、人形やセットをつくる人たち、企画して公演のお知らせをする人たち、テレビで人形を操る人たちなど、劇団員は合わせて77人です。



知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

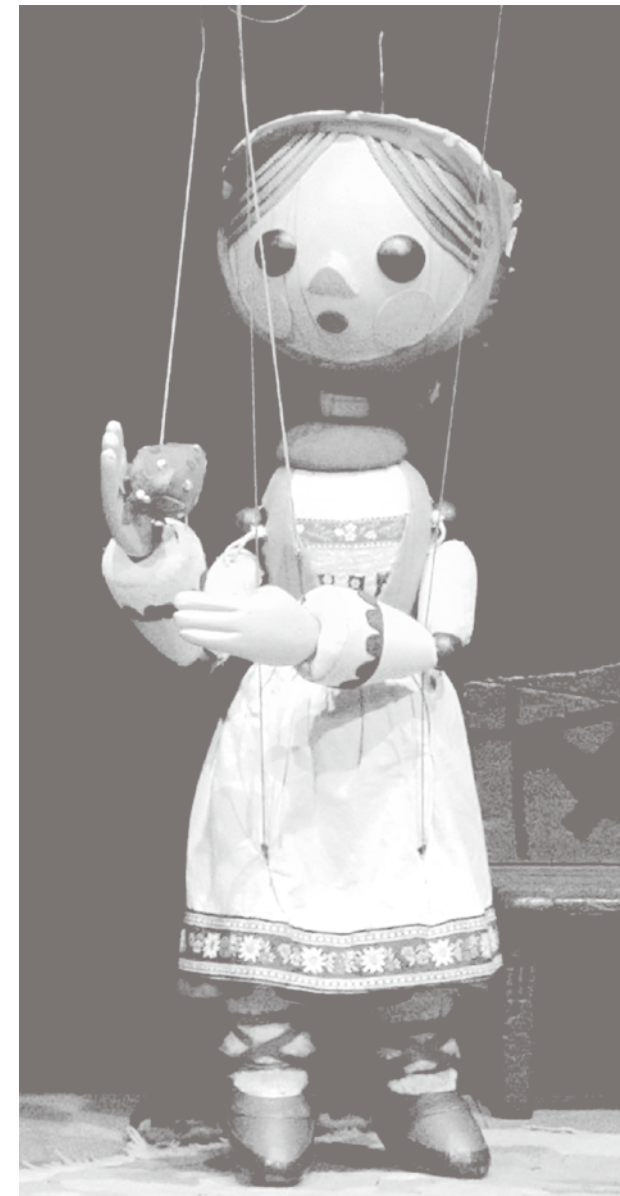
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

れいわ がんねん ど
令和元年度

文化芸術による子供育成総合事業

一巡回公演事業一

じ どうげき
《児童劇》



人形劇団プーク
公演

12月
スロバキアの民話より
《自然の厳しさやさしさに向きあい生きる少女マールシャの物語》

「文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演事業一」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。





げき 劇について

『12の月のたき火』は、スロバキアの民話をもとにつくられました。主人公マルーシャが立ち向かう、困難や試練と一緒に体験することで、みなさんの美しい心、ともに明日をゆたかに生きる力を育みたい…そんな願いを込めてつくられたのがこの舞台です。



げき つく ひと この劇を創った人たち

さく えんしゅつ はなし げき ほん か
作・演出プラン (話をつくり、劇のための本を書き、

げき 劇のもともとの計画を立てた人) …………… かわじり たいじ
川尻泰司

えんしゅつ げきぜんたい かんが はいゆう うご ひと
演出 (劇全体を考え、俳優の動きなどをつくった人) ……… おかもと かずひと
岡本和彦

びじゅつ にんぎょう ひと
美術 (人形のデザインをして、つくった人) …………… なかやま ときこ
中山杜卉子

おんがく げき あ おんがく ひと
音楽 (この劇に合うように音楽をつくった人) …………… ながさわ かつとし
長沢勝俊

しょうめい ぶたい しょうめい ひと
照明 (舞台の照明のあてかたをデザインした人) …………… あべ ちかこ
阿部千賀子

せいさく げき み げき ないよう しょうかい せんでん ひと
制作 (劇を観てもらうために、劇の内容を紹介したり、宣伝する人) など

あらすじ

ある大晦日の日。いじわるな母親の言い
つけで吹雪の森へいちごを採りに出かけます。
いちごの実る季節ではありませんが、持って
帰らないと家に入れてもらえません。

もり なか こで とお
森の中で凍えていると、遠くからたのしげな
うたこえ き
歌声が聞こえてきました。マルーシャが行って

みると、そこには1月から12月までの月の精たちが集まり、たき火を囲んで
あたら とし むか いわ
新しい年を迎えるお祝いをしていたのです。

しぜん きび む あ にんげん おし
自然の厳しさとやさしさに向き合い、人間のとうとさを教えてくれる、
しょうじょ はなし
少女マルーシャのお話です。

